

大館市教育委員会会議録

日 時 令和5年11月15日(水)
午後3時30分
場 所 桜櫓館
大広間

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日時	令和5年11月15日(水)		午後3時30分
	場所	桜櫓館	大広間	
2 出席委員の氏名				
教育長職務代理者	山田和人			
委員	根田穂美子	委員	小笠原正卓	
3 欠席委員の氏名				
委員	工藤啓子			
4 委員以外の出席者職氏名	(なし)			
5 出席した職員の職氏名				
教育長	高橋善之	学校教育課長補佐	工藤貴胤	
教育次長	成田浩司	学校教育課長補佐	北林香子	
教育監	長岐公二	歴史文化課長補佐	篠村朋子	
教育総務課長	小松原功秀	教育総務課総務係長	柳谷真希	
生涯学習課長	鈴木明			
生涯学習課長	糸屋みさえ			
歴史文化課長	小松工			
教育総務課長補佐	宮崎史人			
6 会議録署名委員	教育長・山田委員			
7 会議書記	教育総務課 総務係長 柳谷 真希			
8 教育長報告				
(1)	第33回大館市生涯学習フェスティバルについて			
(2)	北東北のエミシと律令国家シンポジウムについて			
9 議事				
協議第15号	専決処分の報告について			
協議第16号	令和5年度大館市一般会計補正予算(第9号)案			
10 その他				
	(1) デジタル教科書等の情報セキュリティについて			
次回 12月15日(金) 長木公民館 第1, 2研修室				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和5年11月15日

担当課（生涯学習課）


報告事項	報告内容
<p>(1) 第33回大館市生涯学習フェスティバルについて</p>	<p><主催・協賛事業実施期間> 9月23日、24日をメインに、9月、10月の2カ月間(生涯学習強調月間)</p> <p><会場> 中央公民館、栗盛記念図書館、市民交流センター、ほくしか鹿鳴ホール、秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学、秋田県北部男女共同参画センター、北地区コミュニティセンター、小畑勇二郎記念館、プルミエ比内、ニプロハチ公ドーム、県立大館鳳鳴高等学校定時制課程「桜楯館」、わっぱビルヂング（13会場）</p> <p><期間中の来場者数> 6,147人（前年度8,250人）</p> <p><主な行事・来場者数> 9月2日 文化講演会「ふるさと大館の偉人 作家小林多喜二の人と作品から」(栗盛記念図書館) 来場者：32人 9月3日 第32回いとく・S&B杯ちびっ子健康マラソン大会(ニプロハチ公ドーム) 来場者：1,200人 9月15日 布谷 史人マリンバコンサート (ほくしか鹿鳴ホール) 来場者数：150人 9月15～16日 第2回市民交流センターまつり (市民交流センター) 来場者：400人 9月23～24日 第26回北コミセンターまつり(北地区コミュニティセンター) 来場者：1,340人</p>

	<p>10月2・4・6日 大学校公開市民講座2023（秋田職業能力開発短期大学校） 来場者：32人</p> <p>10月4日 メランデ・ピアノ三重奏団（ほくしか鹿鳴ホール） 来場者：180人</p> <p>10月14～15日 第19回大学祭「smile～明るい未来へ向けて～」(秋田看護福祉大学) 来場者：428人</p> <p>10月22日 桜楯館フェスタ「みんなの展覧会、科学教室」(大館鳳鳴高等学校定時制課程「桜楯館」) 来場者数：139人</p> <p>10月22日 大館やわらかクラシックコンサート（ほくしか鹿鳴ホール） 来場者数：100人</p>
--	---

教育長が教育委員会に報告する事項

令和5年11月15日

担当課（歴史文化課）

報告事項	報告内容
(2)北東北のエミシと律令国家シンポジウムについて	<p>北東北歴史懇話会主催によるシンポジウム「北東北のエミシと律令国家」が11月11日、北地区コミュニティセンターで開催され、約60人が来場したほか、約70人がオンラインで聴講しました。</p> <p>基調講演では、岩手大学平泉文化研究センターの八木光則客員教授から、「八・九世紀の蝦夷社会と『律令』」をテーマとして、東北北部の古代について、城柵の造営や、遺跡や出土品からみたエミシ社会、秋田を舞台に起こった元慶の乱などがお話されました。</p> <p>また北東北歴史懇話会の藤盛紀明会長からは、「住民視点の『アテルイ』と『元慶の合戦』」をテーマに、歴史愛好家の立場から、古代の岩手で活躍したアテルイの紹介、元慶の乱の経緯と秋田のエミシの活躍について講演されました。</p> <p>このあと北羽歴史研究会の虻川嘉久会長がモデレーターとなって、八木・藤盛両氏との対談も行われました。</p> <p>来場した参加者たちは、東北の地に生きた「エミシ」の人々の暮らしに思いを馳せ、メモを取りながら熱心に聴講していました。</p> 

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と山田委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1)第33回大館市生涯学習フェスティバルについて」、「(2)北東北のエミシと律令国家シンポジウムについて」を資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>生涯学習フェスティバルについて、私も拝見させていただいて、たくさんの市民の皆さま方の日頃の趣味や、していることをゆっくり拝見することができました。これからも引き続き、市民の皆さま方が生涯学習ということを踏まえて、作品展の中に自分の作品を展示し、また新たに自分の作品を向上させて、一つ一つ進歩できるということの喜びを感じながらフェスティバルを何年も先も続けていけたらいいかなと思って、拝見いたしました。</p> <p>それから、大館市芸術文化連盟からは第1回小中学校書写展を生涯学習課長さんにいろいろご相談しながら開催させていただいたとお聞きしました。今回は、第1回ということもありまして、大変でしたがいろいろご協力いただいて、大館市芸術文化連盟の方が学校を回られて、小中学校の先生方のご理解を得てやることができた大変喜んでおられました。</p> <p>私もその作品展を拝見して、今、ICTの時代ですから、なかなか「書く」ということに集中できない時代になってくるかもしれませんが、書くということ、落ち着いて自分の心をその文字に託して書いて、自分を見つめ直すということもまた必要なことだと思うのです。</p> <p>今回は、「硬筆」も一緒に作品展の中に展示させていただいて、たくさん応募いただいて、大館市芸術文化連盟としては、ありがたいことだと思いました。</p> <p>硬筆については、子どもたちが手に取ってすぐ練習できますし、毛筆と違って硬筆の良さを実感しながら、日本の文字の美しさを感じながら、生涯にわたって続けていってくれれば嬉しいなと思います。</p> <p>硬筆については、来年度からは小中学生の他に大人の方にも参加させていただいて、市の展覧会というようにはいかないかもしれませんが、大館市芸術文化連盟と市と一緒にやっていくという形でお願いできればありがたいと</p>

<p>生涯学習課長</p>	<p>思うのですが、その辺はいかがなものでしょうか。</p> <p>今回も、市と教育委員会の方に後援の依頼がございまして、どちらからも快く承諾させていただいておりました。</p> <p>生涯学習課の立ち位置としましては、学校の方に周知するときに私の方で少し支援という形をとらせていただいたのですが、年間でいくつかの書道展といったものが学校に来ることがあるそうなので、そのようなものとのバランスの調整というのが必要になるのかなというのが、今年の動きを見ていて思ったところでしたので、まず、大館市芸術文化連盟の書道部門の方からは、周知の期間をもっと年度初めの早い時期から長く練習できる期間を設けて、その一定の時期に作品を出してもらえるといいのかなと聞いておりますので、そういったところでのご協力等はできていくのかなとは思いました。</p> <p>いずれ、今の情勢、流れをみますと、学校の負担軽減ということから考えていくと、この周知の方法や作品の集め方、そういったところの問題をクリアしながらやっていかなければいけないものかなと考えておりますので、主催者側と協力しながら支援というのができるかということについて、今後の検討要素かなと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>これからもずっと長くやっていきたいという思いがありますので、何とか協力していただいて、お願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>私も作品を拝見もしましたし、表彰式にも出たわけですが、今回のように大館市芸術文化連盟が主催でやってくださるのは初めてなわけです。しかも、書写は毛筆だけでなく硬筆もという形で。</p> <p>今回大館市内の小・中学生1,000点ぐらい参加してくれて、いろいろなコンクールもあるのですが、そこに出す子どもたちの作品というのは、特別上手な子たちというか、いわゆる塾みたいところで練習している子どもたちが中心なのですが、今回は一般の生徒も含めた募集になっているわけで、まことそういう意味で、まさに大館市芸術文化連盟の今回の趣旨であるICTの時代だからこそ美しい文字とか、手書きの文字によって心を伝えるとか、そのような大切さというものを「大館教育」としても大切にしていきたいなと思っていることでもありますので、今後ともタイアップしながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。よろしくお願いいいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>歴史文化課からお話をいただきましたこのシンポジウムについて、本当に素晴らしい取り組みで、ありがたいなと思いました。うちの二女が歴史オタクで、チラシをいただいたときに「行きたい」と言ったのですが、塾や習い事と重なって行けなくて、「行きたかったな」と今でも言っているので、またぜひこういう機会がありましたら、子どもたちにもご案内いただければと</p>

<p>教育長</p>	<p>思います。本当にありがとうございます。</p> <p>これにも私は参加しました。</p> <p>いわゆる、国全体の歴史の中でエミシの存在自体が非常にマイナーなので、本当に歴史の教科書にも1行出てくるか出てこないかぐらいの扱いなのですが、私たち北東北の人間にとって、まさに直結するご先祖様の話でありますし、そのエミシの中でも、いわゆる岩手県の大墓公 阿弔流為（アテルイ）との状況は結構知られていますが、878年、秋田城を焼き討ちして政府軍を追い払ったという「元慶の乱」については、なかなか知られていないことなのです。</p> <p>結局、秋田城まで入ってきた政府の役人が非常に悪政を敷いて、それで今で言えば南秋田郡のあたりにいるエミシが非常に困ったのを助けるために、米内沢流域の能代、北秋田杉淵（すぎぶち）の火内（ひない）、そして鹿角のエミシの部族連合軍が秋田城を焼き討ちして政府軍を追い払ったという非常に華々しい戦いで、朝廷に雄物川以北すべてのエミシの独立を要求したという、私たちにとっては誇りの原点となるような戦いで、それでクローズアップしてくれたというのは非常に楽しかったです。と同時に、そのエミシたちの独立自尊のスピリッツは、私は今の現代の大館や北秋田、ここら辺で一番そのスピリッツが必要なのではないかというふうなことで、単に千年前の物語ではなくて、やはり現代に生かしていきたいなということで、今やっている「ふるさとキャリア」が現代版の「元慶の乱」だと思った次第です。</p>
<p>委員</p>	<p>今の関連でお話しさせていただきますと、非常に私も興味がありまして行きたかったのですが、残念ながら伺うことができませんでした。</p> <p>まとめたものとかはないのでしょうか。映像でも文章でも結構なのですが、そういうものをこれから出すとか、その辺はどうお考えなのかちょっとお聞きしておきたかったのです。</p>
<p>歴史文化課長</p>	<p>当日の資料は、参加者からいただいたがあるので、もしご希望であれば、コピーして差し上げたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>私にもお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>報告については、よろしいでしょうか。では、議事に入ります。</p>
<p>各課長</p>	<p>（「(1)協議第15号専決処分」の報告について）、「(2)協議第16号令和5年度大館市一般会計補正予算(第9号)案」を資料により説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>ご意見、ご質問はございませんか。 なければ、承認とさせていただきます。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>それでは、その他に入ります。</p> <p>(「デジタル教科書等の情報セキュリティについて」を口頭説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>ご意見、ご質問等はございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>デジタル教科書について、3つの方法があるというようなことでご案内いただきましたが、3番目、いわゆる「光磁気ディスク」という総称で言われるものだと思うのですが、それについてはまず大丈夫です。</p> <p>そして、サーバーを通してクラウドからデータをもろうということもまず了解ですが、デジタル教科書の媒体として一番最初にご説明くださったものをもう一度ご案内いただけますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>教科書会社で提供しているソフト、内容を学校のサーバーにインストールして、そこで直接学校のサーバーの中でやり取りするということです。</p>
<p>委員</p>	<p>ソフトそのものを学校のサーバーに入れてしまって、そこから分けるというような形ということですね。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>そうです。当然、更新等があったときには、その教科書会社から新しいデータの更新の連絡がきて、そこでまた更新して新しいものにしていくということです。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。それについて大館市はどのような方向で行くというのは、これから検討されるということによろしいでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>その通りでして、実際にその教科書が反映されるというか購入した時点で学校の希望やどういったやり方がいいのか、学校と先生の方針などもありますので、どういった使いやすさがいいのか、それぞれ検討してやっていくと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。現場の先生が一番やりやすい形でご検討いただけるといいなと思っています。もちろんセキュリティの問題もあるでしょうが、学校の先生にあまり負荷がかからない形で、自席の机で、教科書なりそういったものが見られる環境をぜひ構築していただければいいなと思っていますので、これからの検討を期待しています。ありがとうございました。大変よくわかりました。</p>
<p>教育長</p>	<p>付随した情報ですが、「校務支援システム」については、もう、やっている市町村もありますし、まだというところもあります。それから、市町村によってそのシステムが、要するに契約会社が違うということもあって、で</p>

	<p>も、教職員については市町村をまたいで異動するのが原則ですので、県として、県教育委員会としては、できれば同じシステムで、しかも県として1つのシステムで運用したいという願いを持っていて、そうすることによって教職員の負担も減るし、それから、県として一括してそのシステムを入れたときにコストが下がる可能性も高いということで、今、県教育委員会が中心になって推進しているという情報をお伝えいたします。</p>
委員	<p>貴重な情報ありがとうございました。</p> <p>この「校務支援システム」というのは、会社によって若干仕様が違うのでしょうか。</p> <p>違うのであれば、お気をつけいただきたいのですが、県でやるのはもちろん大いに結構ですし、そのためにぜひ尽くしていただきたいのですが、カスタマイズがなかなかできなくなるというか、今まではその現場に合わせてきていたのが一括契約となるとなかなかそうもいかないというところがでてくると思いますので、その辺はぜひ運用で補っていただいて、学校の現場が混乱することのないように、ぜひその辺も含めてご検討いただければと思いますので、重ねてお願いということでよろしくお願いたします。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>今の話題とまた別に、委員の方々から何かございませんか。</p>
委員	<p>発明工夫展を毎年拝見しているのですが、毎年子どもたちが違うアイデア、発想、すごいなといつも思うのです。大館の子どもたちは、その発想力というか独自のオリジナルの自分だけの考え方を形にするというか、その力が備わっているのでしょうか。いつも感心しますね。発明工夫展に限らず、いろいろなところで感じる場所でした。ありがたいことだと思っています。</p>
教育長	<p>そうですね。ものづくりということだけではなく、やっぱり発想とか着想とか、その凄さというのを感じます。</p>
委員	<p>うちの子どももそうですし、一緒に出してきた子どもたちを見てても本当にその発想ってすごいなと思って、その生活の細かいところの視点を見て、これがあつたら、これをどうしたらいいというのを考えるのは楽しいことだなというのは、子どもたちはわかっていると思うのです。</p> <p>それに大人が混ぜてみんなでディスカッションしてと、本当に発明工夫の作品展に向けてというのは、毎年1回、家族で楽しい思いをさせていただいています。ありがとうございます</p>
教育長	<p>今年度の特色は、猛暑対策の作品が結構ありましたね。日傘を差してシュッとやると、ミントシャワーが噴き出すとか面白かったです。</p> <p>それは生活から、そのようなものもあればいいなというふうな形になって</p>

<p>委員</p> <p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>いくという、それもすごい能力だなと思いますし、私も毎年楽しみにしています。</p> <p>うちの娘が1年生のとき、担任の先生の身長が148センチメートルぐらいで、小さくて高い画びょうが取れないという情報から画びょうを取る方法を考えて、本当にその生活の細かいところでそういう発想になるのだなと僕も勉強させてもらっていました。</p> <p>他に、ご意見、ご質問等はありませんか。</p> <p>(「来月の開催日程」について)</p> <p>委員の皆さまから何かございませんか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	<p>会議終了時刻 午後4時10分</p>